

第3回羽田空港機能強化に関するコミュニケーションのあり方アドバイザー会議 議事要旨

日時：平成27年5月18日（月）10:00～11:30

場所：中央合同庁舎2号館共用会議室3A・3B

1. 第2回会議議事の確認について

- 事務局より、参考資料「第2回羽田空港機能強化に関するコミュニケーションのあり方アドバイザー会議議事要旨」を基に説明。

2. 羽田空港機能強化に関するコミュニケーションのあり方（案）について

- 事務局より、資料「羽田空港機能強化に関するコミュニケーションのあり方（案）」を説明。

- 各委員からの主なご意見は、以下のとおり。

- 対話においては、設計がとにかく重要。サイレントマジョリティー、特に女性が意見を言えない場合が多いので、幅広い利害関係者が、それぞれしっかりと意見を言えるような設計にするべき。また、対話の目的、対話の結果をどのように生かすのか等を最初からはっきりさせて、住民に伝えることも重要。
- 説明会の形式については、教室型は強い意見を持っている人がマイクを離さない場合も多い。情報が欲しい人がもらえる、意見を言いたい人が言えるオープンハウス形式で実施するのが良い。また、集まった意見を公表することで、他の人間が何を言っているか知ることが出来るという教室型の趣旨も踏まえることが出来る。
- 双方向の対話において、集まった意見を公開することは必要だが、すべて公開することで自由な発言を妨げうることもある。公開については様々な配慮が必要。
- 集まった意見の公表は、代表的な意見にある程度集約することも有用。例えばニュースレター等で集まった意見を公表することで十分ではないか。
- 説明会の開催地については、住民もビジネスマンも参加できるような設計にすると良い。
- プロセスにおいては、決められた時間の中で、しっかりと時間管理を行いながら対話を進めていくことが重要。
- プロセスの解像度を上げることで、住民にも安心感を与えることになるとともに、関連する自治体間で対応がばらばらになることを防げる。
- 関係自治体とは、説明会（オープンハウス型）だけでなく、コミュニケーション全体について協力していくことが必要。

3. 今後の進め方

- 事務局より、今後の進め方について以下のとおり説明。
 - 本会議については、第3回をもって閉会とする。
 - 説明会の具体的な開催場所、スケジュール等は、これまでの議論を踏まえつつ、関係自治体と相談した上で決定・公表し、その後順次説明会を開始する予定。